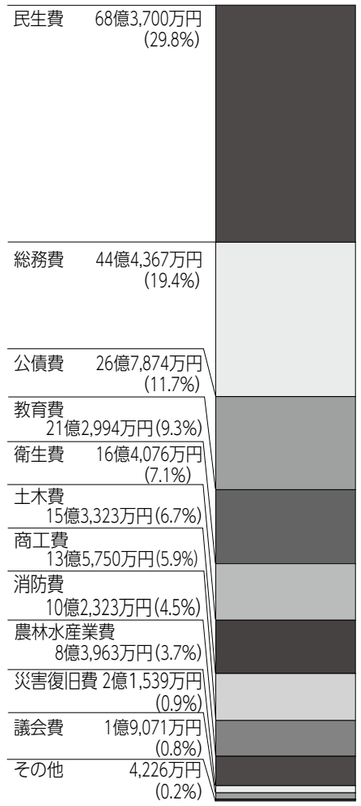
令和4年度 決算

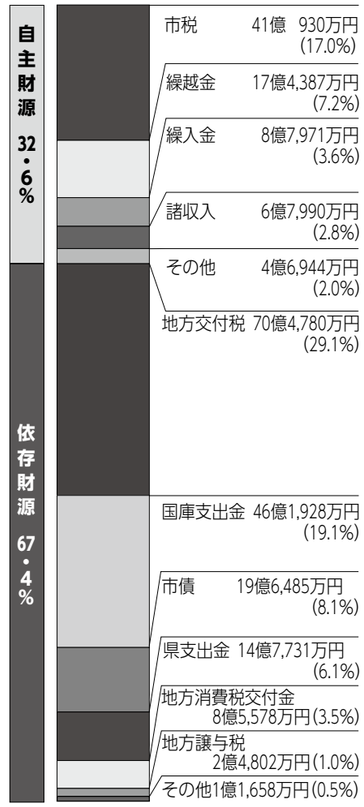
市の財政は、皆さんから納めていただいた税金や国からのお金などで成り立っています。令和4年度も限られた貴重なお金を、皆さんの暮らしのために有効に活用しました。今回は市議会9月定例会議で認定された令和4年度の決算の概要をお知らせします。

※金額は1万円未満を四捨五入しています

一般会計歳出
229億3,206万円



一般会計歳入
242億1,184万円



自主財源は32・6%

「一般会計」は福祉や教育、土木など市の基本的な仕事のための会計です。令和4年度の一般会計決算は、歳入(収入)が242億1184万円、歳出(支出)が229億3206万円となりました。

歳入で最も多いのは、国から配分された地方交付税の70億4780万円。財源別に見ても、地方交付税や国庫・県支出金などの依存財源が約67・4%を占め、財源の大半を国や県に頼っている状況です。

これに対して、市税などの自主財源は約32・6%。自主財源が多いほど市政の自主性と安定性が保てます。

健全な財政運営を進めるため、自主財源の割合を高めていく必要があります。

一般会計11億6千万円減

歳出では、広域道の駅整備に伴い総務費が増加となりましたが、臨時特別給付金事業の減、建設関係事業の進捗などにより衛生費などが大幅に減少。前年比11億6039万円の減額となりました。引き続き、主要な事業に重点的に財源を充てながら、事業見直しと経費節約を図っていきます。

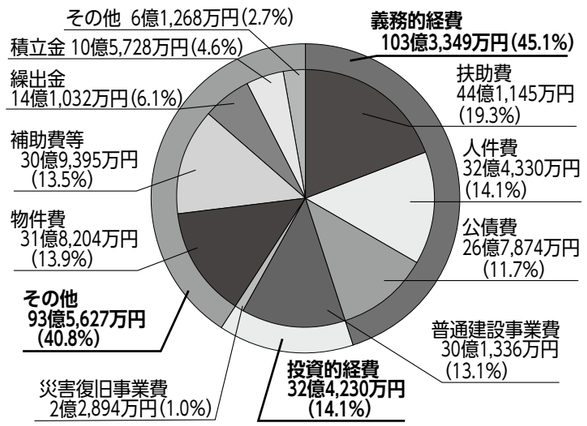
特別・公営企業会計の状況

市の会計には一般会計のほか、特定の事業や収入・支出を一般会計と区別して処理する「特別会計」と事業で得られる収入で経費をまかなう独立採算制を原則とした「公営企業会計」があります。

市の特別会計には、国民健康保険や後期高齢者医療などがあり、収入の合計は46億605万円、支出の合計は44億7242万円となりました。

公営企業会計に該当する水道・下水道事業会計は、皆さんから納めていただく料金を主な収入としています。旧簡易水道や市内消火栓の維持管理費、雨水排水処理費など一般会計から補填(ほてん)しています。

■性質別歳出



■特別会計

会計名	収入額	支出額
国保(事業勘定)	40億6,898万円	39億3,579万円
国保(直診勘定)	1億4,345万円	1億4,345万円
後期高齢者医療	3億7,749万円	3億7,705万円
魚市場事業	1,613万円	1,613万円
合計	46億 605万円	44億7,242万円

■公営企業会計

事業名	区分	収入額	支出額
水道	収益的収支	9億2,839万円	9億 746万円
事業	資本的収支	2億9,334万円	7億2,676万円
下水道	収益的収支	10億9,985万円	10億8,239万円
事業	資本的収支	12億 312万円	14億5,819万円

財政の健全化が必要です！

■実質公債費比率 11.6% (県内の市平均 11.2%・市令和3年度 12.5%)
毎年入ってくる収入のうち、何%が借金返済に使われたかを示すもので、過去3年間の平均値です。25%を超えると、借り入れが制限されます。

■将来負担比率 84.4% (県内の市平均 53.8%・市令和3年度 104.3%)
毎年入ってくる収入に対する、将来に負担が見込まれる借金の割合です。将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標となります。

■経常収支比率 96.8% (県内の市平均 94.2%・市令和3年度 91.2%)
市が毎年実施している事業に充てる経費を、毎年入ってくる収入で割った数値です。80%を超えると財政は苦しいといわれています。

令和5年度予算の進み具合

※9月30日現在。金額は令和4年度からの繰越事業費を含むもので、1万円未満は四捨五入しています

■一般会計

歳入名	予算額	収入額	執行率
市税	38億7,938万円	22億8,798万円	59.0%
地方交付税	67億7,538万円	46億2,725万円	68.3%
国庫支出金	44億8,534万円	9億7,966万円	21.8%
県支出金	15億4,914万円	1億 9万円	6.5%
市債	20億4,120万円	0万円	0.0%
その他	47億6,693万円	21億7,417万円	45.6%
合計	234億9,737万円	101億6,915万円	43.3%

歳出名	予算額	支出額	執行率
総務費	37億7,507万円	10億3,224万円	27.3%
民生費	66億9,963万円	26億5,475万円	39.6%
衛生費	15億8,423万円	5億8,866万円	37.2%
農林水産業費	10億6,848万円	3億 348万円	28.4%
商工費	9億6,360万円	5億6,927万円	59.1%
土木費	23億8,588万円	5億4,368万円	22.8%
消防費	11億2,957万円	3億3,975万円	30.1%
教育費	27億8,188万円	7億7,701万円	27.9%
災害復旧費	4億3,661万円	1億3,282万円	30.4%
公債費	24億1,520万円	11億8,500万円	49.1%
その他	2億5,722万円	1億1,999万円	46.6%
合計	234億9,737万円	82億4,665万円	35.1%

■特別会計

会計名	予算額	支出額	執行率
国保(事業勘定)	39億8,290万円	14億3,461万円	36.0%
国保(直診勘定)	1億7,982万円	5,606万円	31.2%
後期高齢者医療	3億9,890万円	9,269万円	23.2%
魚市場事業	1,877万円	1,073万円	57.2%
合計	45億8,039万円	15億9,409万円	34.8%

■公営企業会計

事業	区分	予算額	支出額	執行率
水道事業	収益的支出	10億8,493万円	1億6,141万円	14.9%
	資本的支出	9億5,328万円	2億7,973万円	29.3%
下水道事業	収益的支出	11億9,468万円	1億6,987万円	14.2%
	資本的支出	17億8,896万円	3億9,198万円	21.9%
合計		50億2,186万円	10億 299万円	20.0%

用語の説明

表に出てくる分かりづらい主な用語を説明します

【収入の関係】

▶**地方交付税**…人口や環境などの違いで生まれる地方間の格差を調整するために国から配分されるお金です。所得税や法人税などがもとになっています

【支出の関係】

▶**民生費**…福祉や子育てを支援するために使うお金
▶**総務費**…企画調整事務、庁舎や財産の維持管理、戸籍管理、税金徴収など市の運営全般に使うお金
▶**公債費**…市の借金返済などに使うお金
▶**教育費**…学校や生涯学習、スポーツなどを推進するために使うお金
▶**衛生費**…環境の保全や健康を増進するためなどに使うお金
▶**土木費**…道路や公園などの整備や補修に使うお金
▶**商工費**…商工業や観光を促進するために使うお金
▶**消防費**…消防や災害対策などに使うお金
▶**農林水産業費**…農林水産業の振興などに使うお金
▶**災害復旧費**…災害によって被害を受けた施設や道路などを復旧するためのお金
▶**扶助費**…子どもや高齢者などの支援に使うお金
▶**義務的経費**…支出が義務付けられていて、市の判断で削減することが難しいお金
▶**投資的経費**…道路や漁港、建物などを整備するために使ったお金